

挨拶文

2025年1月19日

M.Fujii

本日はこのような場を設けていただき、有難うございます。

これまでの経験を活かし、精進していきます。

今後とも関わりがあるかと存じますが、またご指導のほどどうかよろしく
お願いいたします。

さて、「華夷弁別」です。

「華」は世界の中心、中国のことを通常意味します。

2番目の「夷」は、周辺の属国、中心に立てない野蛮な国を意味
します。

「弁別」は、区別し、語り、そうした認識でやっていくことです。

こうした中国自身の一般的な解釈に対し、江戸時代の終わりごろ、幕末の時代に、現在の山口県萩市の松下村塾で吉田松陰先生が塾生に語っていた「華夷弁別」の解釈は、中国のそれとは異なります。

“自分が存在していて働いている場所”が、「華」であると。

吉田松陰先生が語る「華夷弁別」は、自身がいる場所を世界の中心と考え、そこで誠を尽くしなさい、と。

働き生きていく場所は人それぞれですが、自身がいる場所が世界の中心であると考え、今後も私自身とすれば、日中の仕事、夜や週末の学究生活に力を尽くしていきたいと思います。

見かけた際は、是非声をかけて下さい。

以上